

(様式5)

8 今年度の重点課題 (学校アクションプラン)

令和5年度 南砺平高等学校アクションプラン - 1 -			
重点項目	学習活動		
重点課題	学習に取り組む態度の育成および教師の指導力、ICT活用スキルの向上		
現 状	・家庭や寮での学習量や内容が不十分で、十分な態勢で授業や考査に臨めていない生徒がいる。 ・基礎学力が不足しているため、教科内容の習得に時間がかかる生徒がいる。 ・進路に対する目標が明確でなく、課題への取り組みが不十分な生徒がいる。 ・教員間で、ICTの活用における意識やスキルに個人差がある。		
達成目標	①学習時間の確保 ・生徒の1週間あたり、授業以外の学習時間	②ICTを活用した授業の満足度の向上 ・ICTの活用満足度を3点満点で評価 (各学期末に取り組み状況を調査)	
	・各学年平均600分以上	・各学年2.5点以上(3点満点)	
方 策	・生徒が取り組みやすい課題内容や生徒個々に合わせた課題レベルを検討し、朝学習をはじめ授業以外の時間にも学習する習慣を身につけさせる。 ・詳細な学習・生活実態調査を実施し、生活指導を合わせたきめ細やかな面接指導、助言を行う。 ・進路調査、成績結果と実態調査結果を分析し、進路意識を高める面接により、意識付けを図る。		
達成度	2学期末まで(前年度は年間) 第1学年 418分(前年度502分) 第2学年 494分(前年度452分) 第3学年 567分(前年度795分)  平均 487分(前年度583分)	1学期末調査結果 第1学年 2.4点 第2学年 2.1点 第3学年 2.0点 平均 2.15点 (前年 2.58点)	2学期末調査結果 第1学年 2.2点 第2学年 2.4点 第3学年 2.2点 平均 2.26点 (前年 2.44点)
	具体的な取組状況	・学習・生活実態調査を通年で実施し、各自の学習時間を意識させ、担任から課題提出を中心に指導・助言を粘り強く行った。 ・3年生は進路が決まる2学期は個別指導を受け、放課後に教室で集中して学習に取り組む様子も見られ、目標値を達成する生徒が多かった。しかし、1学期の取組状況については課題が残った。 ・1、2年生は定期考査中のみ目標値を超えているが、それ以外の期間の学習時間は例年よりも少なく、1年を通じて状態に変化はなかった。	
評 価	1年生:D 2年生:C 3年生:B		D
学校運営協議会の意見	・学習に前向きでない生徒がいることはあまりよいことではない。目標意識をもって学習に前向きになれる手立てが必要である。 ・時間だけを意識するのではなく、好きな学科、得意な学科を見つけさせることが大事。		
次年度に向けての課題等	・授業でのICT機器の効果的な使用方法、使用事例の情報交換、互見授業も引き続き実施していく。 ・ICT機器の不適切な使用によって問題を引き起こす可能性があり、教師と生徒が協力して安全な使用方法を学ぶ必要がある。 ・教員がその特性や活用方法を十分に理解しておくことが重要である。また、オンライン授業のスキルを身につけることで、生徒の学びをより効果的にサポートできるようにする。		

( 評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった )

令和5年度 南砺平高等学校アクションプラン - 2 -

重点項目	学校生活	
重点課題	安全な学校生活と心身の健康について	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車や徒歩による登下校時の交通ルールに対して、安易な行動が時々見受けられる。</li> <li>・周囲には商店や高校生が利用できる施設等も少なく、スマホや携帯といった通信機器に依存し、トラブル等に巻き込まれやすい環境にある。</li> <li>・生徒数が少ないことにより、人間関係が深いものとなりやすく、ささいなことから人間関係のトラブルやいじめにつながりやすい。</li> <li>・精神的に弱い生徒、悩みを抱える生徒が増加傾向にある。</li> <li>・自主的な健康管理ができず、睡眠不足による体調不良を訴える生徒が増えている。また、食に対する正しい知識が乏しく、不適切なダイエットに頼る傾向がある。</li> </ul>	
達成目標	①悩みを相談しやすい学校づくり ・全員面談の回数	②バランスの良い朝食をとる意識の向上 ・長期休業期間中の朝食内容について調査し、「バランスの良い朝食をとった」と回答する生徒の割合
	・年5回以上	・50%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から生徒に声がけをし、悩みを相談しやすい雰囲気づくりに努める。</li> <li>・定期的に面談をする計画を立てる。</li> <li>・何かあった場合の対応策について周知を図り、迅速に対応できる体制を整えておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HR等を利用して、バランスの良い食事とはどのようなものかを考えさせる。</li> <li>・生徒各自が、長期休業期間中の朝食内容の記録をつけ、自己評価をする。</li> <li>・保健だより、給食だより、生徒厚生委員会の活動を通して、情報提供をする。</li> <li>・保健室での保健指導や、生徒寮での舎監による指導を行う。</li> </ul>
達成度	2学期末までで、 <b>1学年5回、2学年5回、3学年6回</b> の全員個人面談を実施することができた。また、悩みを抱えている生徒に対する声かけや相談等も日常的に行うことができた。	11月実施のアンケートより 朝食を食べた <b>バランスが良かった …37人(53%)</b> バランスが良くなかった …25人(36%) 朝食を食べなかった … 8人(11%)
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考査前面談や科目登録の面接などに合わせて実施した。また、普段から生徒と教員との良好な人間関係が築かれており、生徒同士のトラブルにも迅速に対応することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HR時に、栄養士によるバランスの良い食事についての講義を行った。</li> <li>・夏期休業期間中に朝食内容の記録をつけ、自己評価をした。</li> <li>・生徒厚生委員会が文化発表会や学校保健委員会で朝食の大切さについて発表した。</li> <li>・保健だより、給食だよりを通して、バランスの良い食事についての情報提供を行った。</li> </ul>
評 価	<b>A</b>	<b>B</b>
学校運営協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みを相談しやすいことは大変よいことである。</li> <li>・不登校生徒との面談についても丁寧に行われている。</li> <li>・人としての基本的なルールや衣食住の基本をぜひ学んで卒業してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう食事が良い悪いのアドバイスはあってもよいが、実際どのようにするかは家庭の問題ではないか。(本人の努力では難しい。)</li> <li>・給食があるから栄養面で親は安心しており、「昼がしっかりしているから、朝は簡単に」という面もあるのではないか。</li> </ul>
次年度に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒には1年間通して、きめ細やかな対応をとることができた。深刻ないじめやトラブルもなく安心して学校生活を送ることができたと思う。次年度以降も継続していきたい。</li> <li>・人間関係に悩みを持つ生徒も多くいることから、教員だけでなく外部の専門家とも連携し、相談体制の充実を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食内容については家庭の問題ではあるが、今後も食事バランスを意識できるようになる指導を続ける。</li> <li>・睡眠不足のために朝起きられず、朝食をとる時間がないという生徒がいるので、睡眠についての指導も必要である。</li> </ul>

( 評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった )

令和5年度 南砺平高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	進路支援	
重点課題	進路意識の高揚および生徒個々の希望進路に応じた学力の育成	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路先が大学から就職まで多様で、学力差も大きく、十分な対応ができていない所もある。</li> <li>・進路に関する生徒と保護者との認識のずれ等の要因により、進路先決定までに時間がかかり過ぎている。</li> <li>・外部模試は、令和元年度より希望制とした。また、令和元年度から1・2年生に導入した「高校生のための学びの基礎診断」を基礎力診断テストから、1学期にスタディサポート、3学期に実力診断テストに変更し、生徒の基礎学力の判断指標とし、教科指導に生かしている。</li> <li>・検定試験の受験を推奨し、令和5年度から生徒の自主的な学習を勧めるため、全ての検定試験の受験を希望制とした。各年度内で必ず検定を1つ受験することを勧める。漢字検定、英語検定、数学検定、世界遺産検定、ビジネス系の検定受験を推奨する。主体的に学習に取り組むことで、基礎学力の充実を図ることを目標としている。</li> </ul>	
達成目標	①一人一人に対応した進路指導の充実 ・保護者同意の進路希望先決定率  ・3学年 90%以上(7月末) 進学希望者は第1受験希望校を決定する。就職希望者は入社希望企業業種を決定する。 ・2学年 80%以上(12月末) 進学希望者は進学希望校種・学部・学科・コース等を決定する。就職希望者は就職の意思決定をする。	②基礎学力の充実 ・高校入学から卒業までに、各種検定1種目以上取得した生徒の割合  ・1年生 40% ・2年生 60%(1年次の取得割合は35.7%) ・3年生 80%(2年次までの取得割合は79.1%)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンス、卒業生と語る、オープンキャンパスやインターンシップなどを通して、進路意識の向上を図る。</li> <li>・希望進路先に対する基礎学力の状況を家庭学習時間調査結果や外部模試・検定を通して把握する。</li> <li>・進路希望調査(4月・7月・12月)をもとにした進路に関する個人面談を実施し、保護者会を通して、生徒と保護者が共に納得できる進路希望先を決定できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験(漢字、数学、英語、ユネスコ世界遺産、秘書検定)を合わせて8回実施する予定である。</li> <li>・令和5年度より検定試験の受験を全て希望制とした。進学や就職における検定試験合格の価値を進路面談を通して生徒に認識させ、検定試験の受験と合格を目指す。検定の受験の際には、受験指導をそれぞれの教科が担当し、合格に向けた手立てを講じる。朝学習などを利用し、検定に向けた学習をクラス単位で促す。</li> </ul>
達成度	・3学年 <b>95.6%</b> (7月末)22名/23名決定。1名検討 ・2学年 <b>100%</b> (12月末)25名決定。	・1年生 20.8% ・2年生 60.0%(1年次の取得割合は35.7%) ・3年生 82.6%(2年次までの取得割合は79.1%)
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月から「3年生8限補習」を実施した。3年生全員に指導担当教諭を割り振り、進路希望先合格に向けて、個別学習指導、小論文・作文指導を実施した。</li> <li>・進路ガイダンスを6月に実施し、大学～専門学校の学校説明会を行い、面接のポイントや小論文の書き方などより実践的な内容を実施した。</li> <li>・2学期には、明確化した進学・就職先に対応した教科指導、小論文・作文、面接指導を全教員が担当・指導し、2学期末考査まで継続した。</li> <li>・1学期末考査後～終業式までの7限帯の授業を進路研究の時間とし、各学年主導の進路を考える時間とした。1学期は1年生は文理選択、2年生は進学指導、3年生は進学・就職指導を行った。</li> <li>・進路指導の時間を確保できたことで、生徒との面談の時間や進路に関する活動が十分に行えた。</li> </ul>	①実用英語技能検定は英語科が主体となって合格に向けての指導を実施した。2級合格者が1名、準2級合格者が4名、になるなど成果をあげることができた。 ②日本漢字能力検定は希望者が受験し、2級・準2級合格者が1名ずつあった。 ③実用数学技能検定は希望者が受験し、準2級合格者3名であった。 ④世界遺産検定は、全学年の希望者が受験した。それぞれの検定間近になると、休み時間や自習時間を検定の学習に取り組む生徒の姿も見られるなど、学習に対する雰囲気も良くなっているクラスもあった。
評 価	A	B
学校運営協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に対応されており、今後も継続してほしい。</li> <li>・引き続き個別の指導を重視し、その子なりに伸ばしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定のための学習が、家庭学習時間と関連して、学習時間の増加につながるのではないか。</li> <li>・検定に合格した先輩の話を聞く機会もあったらいいのではないか。</li> </ul>
次年度に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期末に実施した進路研究の時間の活用について、実施期間・内容などを検討し、次年度に反映させたい。</li> <li>・朝学習の取り組みについて、資格取得のために特化し、3年間を通した学習計画を立てることで学年担当の負担を少なくし、効果的な朝学習の運営を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生は目標数値を達成することはできたが、1、2年生はできなかった。</li> <li>・朝学習の取り組み内容に漢検・英検・数検・世界遺産検定を取り入れることを検討し、次年度に反映されたい。</li> </ul>

( 評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった )

重点項目	特別活動	
重点課題	特別活動の充実および読書習慣の定着	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会中心に、生徒主体の学校づくりを目指しており、生徒会行事ではそれが達成されているが、校則等の規律という面では教員に頼る部分が多い。</li> <li>・放課後、部活動のない時間帯に学習せず、スマホをさわっている生徒が見受けられる。</li> <li>・小中高合同運動会、球技大会、文化発表会など、生徒が積極的に取り組んできた行事は多いが、コロナ禍で行事が中止もしくは縮小・制限され、モチベーションが低下気味である。</li> <li>・年間で一冊も本を読まない生徒が4割を超えており、生徒の読書離れが懸念されている。</li> <li>・図書館の蔵書冊数が他校に比べて少なく、十分とは言えない状況である。</li> </ul>	
達成目標	①学校行事や生徒会行事での満足度 (5:満足、4:やや満足、3:どちらともいえない、2:あまり満足できなかった、1:満足できなかった)	②読書習慣の確立 ・生徒が良書に触れることを目的とする。各自が年間読書の目標冊数(最低5冊)を設定する。
	・すべての行事で、4以上の生徒が75%以上	・各自の達成度の平均が80%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自主性を大切にされた運営、事前の準備を大切にする。</li> <li>・多くの生徒が準備に参加できるように計画を立てる。</li> <li>・リーダー研修会等を通して、リーダーとしての心構えや積極性を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書週間を毎学期実施し、生徒全員が読書に取り組める機会を設ける。</li> <li>・「図書室だより」の発行や「購入図書調査」を通して委員会活動を活性化し、読書への関心を高める。</li> <li>・図書室と学級文庫の蔵書を充実させる。</li> <li>・生徒が興味を持ち、手に取りやすいように、図書室内外の図書の配置を工夫する。</li> <li>・生活実態調査に冊数を記入し、読書量を意識させる。</li> </ul>
達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価が4以上の生徒の割合は次の通りで、目標を達成することができた。</li> <li>小中高合同運動会81%</li> <li>球技大会85%</li> <li>文化発表会82%</li> <li>五箇山探究78%</li> </ul>	年間読書の目標冊数を達成した生徒は <b>54.2%</b> であった。 ※4月から1月までの期間における暫定冊数
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー研修会等を通して、リーダーとしての心構えや積極性を育てた。</li> <li>・生徒の自主性を大切にし、多くの生徒が準備に参加できるように計画を立てた。</li> <li>・五箇山探究では、地域に出ていく活動を増やすように心がけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2学期に朝読書週間を実施した。</li> <li>・出張図書として教室の前に何冊か本を置き、貸し出しができるようにした。</li> <li>・表紙が見やすいように展示を工夫した。</li> <li>・読書週間後に読みたい本のアンケートを実施し、生徒の関心をもとに選書を行った。</li> <li>・7月、12月に図書だよりを発行し、本を紹介した。</li> <li>・図書室前に新着図書の一覧を掲示した。</li> </ul>
評 価	A	C
学校運営協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五箇山探究のとても熱心な活動に感謝。</li> <li>・生徒が主体的かつ意欲的に活動している様子がうれしく思う。</li> <li>・外部のスピーチコンテスト、短期留学など学校ではできない経験もさせてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味のある本をどう見つけるか、どういう本なら手に取ってくれるかを考えなくてはいけない。</li> <li>・市の図書館をうまく活用できないか。</li> </ul>
次年度に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も生徒が主体となり、準備を重視した行事を実施していきたい。</li> <li>・今後も五箇山を体感できる活動を継続していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がどのような書籍に興味、関心を抱いているかなども調べ、より読書量が増えるよう工夫する必要がある。</li> </ul>

( 評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった )

令和5年度 南砺平高等学校アクションプラン - 5 -

重点項目	その他(地域・家庭との連携、生徒寮生活)	
重点課題	教育活動への理解を深める情報発信の強化	生徒寮における生活と学習の質の向上
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種「たより」は定期的に発行されており、「学校だより」は7月、12月、3月に平・上平地域全戸に配布し、広報活動を行っている。また、本校のHPにも掲載している。</li> <li>本校の様子を本校HPに適宜掲載しているが、内容に対する保護者の満足度を高めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒寮で生活する生徒が年々多様化し、そのためひとり一人の学習能力や生活能力の差が激しい。このことから、今年度も昨年度に引き続き、個人に合わせた目標を学期ごとに掲げて努力させたい。昨年度のこの取り組みは、寮生活で自分自身を振り返る良い機会となり、寮全体の良い刺激となった。そのため、今年度の2、3年生は昨年度以上の高い目標を設定し、寮生活の活性化をはかっていく必要がある。</li> </ul>
達成目標	①HPの内容に対する保護者の評価 ・5項目(デザイン、内容、投稿スピード、操作性、情報量)を5点満点合計25点で評価(1・2学期末保護者会時に調査) ・保護者の点数の平均20点以上	②寮生活の目標と学習時間の目標の達成率 ・一人一人が寮生活の目標と学習時間の目標を学期ごとに掲げ、「達成できた・だいたいできた」と回答する生徒の割合(毎月のアンケート調査) ・それぞれの目標達成率75%以上
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校のHPに学校行事等の記事をその都度掲載し発信する。</li> <li>更新状況を保護者に安全メールで知らせる。</li> <li>1・2学期末保護者会で、HPに掲載した内容について評価してもらう。</li> <li>生徒、保護者にとって必要なデータを残すよう、古いものについては整理する。</li> <li>各種「たより」の発行も従来通り行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に2、3年生は頑張れば達成できる範囲にハードルを上げ、現状の生活と学習の質を上げる目標を一人一人に設定させ、振り返りにより自信を持たせる。</li> <li>それぞれが設定した目標の内容は他の寮生に開示しないが、毎月の目標の達成度を寮内に掲示し、互いに刺激し合うことで自分で立てた目標を常に意識させる。</li> <li>職員には舎監時に寮生全員分の調査用紙を見てもらい、日頃の指導に役立ててもらおう。</li> </ul>
達成度	HPに対する保護者の評価(25点満点) 《各学年の平均点》 1学年………19.3点 2学年………16.7点 3学年………21.5点 合計………20.1点 《各項目の平均点(5点満点)》 デザイン…3.9点 内容…4.1点 掲載の早さ…4.1点 操作性…4.1点 情報量…4.0点	1学期の達成率 <b>生活目標94% 学習目標93%</b> 2学期の達成率 <b>生活目標95% 学習目標99%</b>
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事、生徒会行事、部活動等の記事を4月から1月の9ヶ月間に毎月5回以上更新し、計60回更新することができた。</li> <li>各クラス担任からもHPへの関心を高め、閲覧する保護者が増えるよう生徒を通じて呼びかけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期始めに、寮生一人ひとりが生活面と学習面における頑張りたい目標を設定し、毎月達成度の調査を実施した。</li> <li>今年度も毎月の自己評価の達成率を生徒寮に掲示し、寮生同士の良い刺激材料とした。</li> <li>寮生が記入した目標や自己評価は、職員への生徒指導の一助となるように、職員が閲覧できるようにした。</li> <li>学年と男女別に達成率を毎月公表し、寮生活における自分の目標を確認する機会を設けた。</li> <li>寮生ひとり一人が立てた目標を、職員が閲覧できるということから、職員からも納得してもらえる具体的な目標を記載していた。</li> <li>同じ内容での2年目となるアクションプランではあるが、どの寮生も自分の取り組みについて冷静に評価し、達成感を感じたり、反省をする良い機会となった。</li> </ul>
評 価	B	A
学校運営協議会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP掲載はスピードが重要。</li> <li>探究活動の成果(2年生制作の映画など)をもっとPRすればよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策など、細やかな対応に感謝。</li> <li>寮生の目標達成度も高く、今後も同様の寮運営を継続してほしい。</li> </ul>
次年度に向けての課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPIに関心をもって閲覧してくださる保護者が多くなった。またHPに対する要望も多くなってきた。それらに応えるようさらに内容を充実させたい。</li> <li>《保護者からの要望》</li> <li>部活動の成績を最新のものに更新してする。</li> <li>年間、毎月の行事予定を早めに掲載する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度と同様に、寮生の意識が多種多様化してきているため、統一した目標を挙げるのが難しくなっており、今回の取り組みもとても良かったと思う。</li> <li>今年度も、感染防止対策「手洗い・うがい」の実施を毎月調査し、1・2学期全体における「だいたいできている」以上の割合は99%だった。特に今年はコロナよりインフルエンザが蔓延しているため、防止対策の呼びかけと共に、この調査も続けていった方が良いと思う。</li> </ul>

( 評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった )